

同友ひろしま

No. 513

2025.4.20



発行

一般社団法人
広島県中小企業家同友会

広島市中区中町8-18 広島クリスタルプラザ8F
TEL (082) 241-6006 FAX (082) 241-6007
E-mail: info@hiroshima.doyu.jp

編集責任者・広報部長 小谷 伸子



広島同友会ホームページ



4月1日合同入社式 呉会場

- P2・合同入社式（広島会場/福山会場/呉会場）
- P3・ひろしま指針塾オープン例会
- P4・広島西支部例会
- P5・尾道支部（活性化企画/ぶちええ尾道）
- P6・広島東支部（広島みなとフェスタ/青年部オープン例会）
- P7・備北支部例会/東広島ロードマップ活用勉強会
- P8・FMみはら/イシネ事務機 国登録有形文化財
- P9・入会者一覧
- P10・環境経営交流会/第53回定時総会案内/ベスト15&名簿アプリ

【今年度のスローガン】

Human First!

～新時代へ挑戦～

4月1日現在の会員数 3,017名

県内64社107名の合同入社式

広島、福山、呉の三会場で開催

【広島会場】

4月1日、満開の桜が咲き誇る晴れやかな陽ざしの中、広島エリア（広島中・東・西・北支部）の合同入社式が27社49名でメルパルク広島にて開催されました。

広島同友会の合同入社式は、1981年にスタートした共同求人活動で採用した若者を企業に定着させ育てていこうという会員の強い決意から、翌82年より新入社員研修とともに始められました。会員企業に入社する新入社員の新しい門出を会全体で祝福し歓迎する合同入社式は43年継続されてます。

この合同入社式に参加した若者が、時を経て入社した会員企業の経営者・後継者となり、会の中でも活躍され、新入社員さんとともに式に参列される姿も見られます。

式典冒頭の栗屋筆頭代表理事の開会挨拶では、中小企業の存在意義と各社での新入社員の活躍を願う言葉がありました。広島市経済観光局産業振興部部長の浦川氏からは、広島市長の祝辞の代読に加えて氏個人からの温かい祝辞を頂戴しました。



続けて、永本建設㈱横山陸さんからは自身の経験から得た先輩としての激励のメッセージがあり、最後は新入社員を代表して㈱EVENTOS 石橋凌さんの堂々とした決意表明がありました。

記念講演の部の㈱シンワ技術 代表取締役 勘田泰邦氏の講演内容は、『同友ひろしま』5月号に掲載予定です。

（記：事務局 岡崎）

【福山会場】

福山会場には22社32名が参加しました。冒頭主催者を代表して森川福山支部求人社員教育委員長（福山ステンレス鑄工㈱・社長）が、入社おめでとうございます。自分の未来を切り拓いていくためにも、入社した会社で自分を磨いてください。隣にいる仲間たちはみな同期です。悩んだときは「あいつも頑張っているんだ」と思い出してください。私達経営者も皆さんと一緒になって成長していきます、と挨拶しました。その後、新入社員の紹介を行いました。

基調講演は㈱豊田工業所豊田社長（福山支部長）が「切り拓け！君の未来を！」のテーマで行いました。できなかったことができるようになる。知らなかったことが分かるようになる。やったことのないことが経験できる。それが仕事の喜びであり、やりがいにつながっていきます、と新入社員にエールを送りました。

先輩社員からの励ましのメッセージは、協同精機㈱山本大遥さんと、平和建設㈱真田みつはさんのお二人が、入社直後の体験談や取り組んできたこと、入社当時不安だったこと、仕事の失敗や成功など、経験を交えて述べました。



最後に新入社員を代表して日鐵鋼業㈱中井瑞邑さんが、社会の一員になれることを嬉しく思います。まだまだ未熟でご迷惑をかけることもあると思いますが、一日でも早く活躍できるよう成長していきます、と決意表明しました。

（記：事務局 井谷）

【呉会場】

呉会場には15社26名が参加しました。まず中里呉支部長が、「社会人とは単に仕事をする人間ではなく、自分の言動や行動に責任を持ち、会社や地域、社会の一員として役割を果たす存在です。中小企業は社員一人ひとりの力が会社の未来を左右します。社会人になった今、これからの人生は、自分自身の選択と積み重ねです。真摯に仕事に向き合い、会社の一員であるという誇りを胸に、自分の人生を切り開いて行ってください」と主催者を代表



してあいさつしました。

そして、経営者を代表して、㈱エイトホーム 代表取締役 澤井弘徳氏が「社会人としての現実と覚悟」をテーマに報告。「社会人は努力しただけでは評価されないのが現実です。教えてもらえることが当たり前、という基準は捨ててください。そして、当たり前のことを当たり前続ける。それが一番難しく、そして一番大事です。社会人になることは自由がなくなることではありません。むしろ、自分の人生を自分で切り開いていくという本当の自由が始まるのです。今この瞬間、現実と向き合い、覚悟を持って、自分自身の人生を自分自身で豊かなものにしていってください。社会人としての成長と活躍を心から願い、期待しています」と熱いエールを送りました。

（記：事務局 木下）

ひろしま経営指針塾「指針塾オープン例会」

～作って実践した人だけが知っている「経営指針」のすごいチカラ～

3月5日（水）に指針塾運営委員会が主催し、合人社ウエンディひと・まちプラザで開催されました。参加者は60名でした。

8か月の月日をかけて、第8期ひろしま経営指針塾で学んだ塾生や、これから指針塾で指針書を成文化する会員が多数参加しました。



（左）ベルエール 金口 志織氏

報告者の第8期ひろしま経営指針塾オブ・ザ・イヤーの金口氏（ベルエール・取締役）の発表は指針書を成文化する難しさや苦労、その過程で自分自身と向き合い、他責から自責に代わっていく心の変化が、よく伝わってきました。

指針書を成文化するということは会社の歴史や社長の苦労、社員1人1人のこと、また自分自身の責任などたくさんのことを考え抜いて成文化するのだと深く感じました。

また、私自身が一番印象深かったのは仲間やサポーター、多くの方に関わってもらいながら一緒に指針書を成文化することの必要性がよくわかりました。同じ立場の会員さんが、英知を結集して、自社のことをさらけ出し、自社の課題や自分の悩みを共有して、真剣に考え素直に議論をする時間が、どれほど大切なのかがよく伝わってくる発表でした。

発表の途中で、感極まって涙を流される場面がありましたが8か月の間、真剣に「良い会社を作ろう」と思い成文化に取り組んでいたからではないでしょうか。私も感化されずこし涙を流してしまいました。

なにより金口氏の発表で一番驚いたのは最初から社員さんを巻き込んで一緒に成文化されたということです。

その後、第8期指針塾のダイジェスト動画が放送されました。8期の塾生やサポーターの皆様の成文化するまでの様子が17分の動画に収められておりました。皆さん何か感じるものがたくさんあったと思います。最後まで真剣な表情で視聴されておりました。

グループ討論では「指針書は活用できますか？」というテーマで活発な討論が行われました。私たちのグループでは指針書成文化をして実践が長い方や成文化したばかりの方、まだ指針書自体を成文化されていない方など様々な方がいらっしゃいました。

指針書の実践が長い方は「指針書があれば社員さんが何を目指せばいいのかわかりやすい、場当たりのな共育ではなく指針書をもとに、一貫した共育を実践している」。

まだ成文化したばかりの会員さんは「幹部に発表して会社の雰囲気が変わった、社員さんが一緒に会社の未来を考えるようになった」。

まだ成文化されていない会員さんは「皆さんの話を聞くことで指針書の必要性がよく分かった、しっかり学びに参加して指針書を成文化したい」など前向きな意見交換ができました。

グループ討論で一致した意見はやはり指針書を成文化するだけではない、しっかりと社員さんも巻き込んで実践しなければいけない、そして自社の不足や課題を認識して学び続け経営指針を実践し続けなければいけないとまとまりました。

討論の発表で各グループ様々な意見を発表しました。活用できている会員やこれから活用していく会員などたくさんの意見が出されましたが、皆様一致して「経営基礎講座や経営指針塾」に参加して仲間と共に成文化するメリットを感じていただけたのではないのでしょうか？

これからどんどん外部環境は厳しくなっていくと思います。その中であきらめないポジティブな仲間たちと共に切磋琢磨を繰り返しながら経営していくことはグループ討論を通じてとても大事なことだと改めて認識しました。

その後、指針塾の塾生とサポーターに卒業証書と終了証が授与されました。共に学び共に実践する実感を強く感じた瞬間でした。

最後に第8期ひろしま経営指針塾の塾生さん、サポーターの皆様、そして運営に関わっていただいた皆、本当にありがとうございましたそしてお疲れさまでした。

また来期の指針塾をより良い学び実践の場とするために御力を貸してください。

（記：藤田 哲也（県経営労働副委員長））



指針塾オープン例会

広島西支部オープン例会

「なりたい姿になるために～あり方とやり方～」(2/28開催)

報告者：有限会社石井製本所 代表取締役 石井龍彦 氏

■家業を継ぐまで

当社は南区で製本業を営んでいます。子供の頃は、家に帰ると自然と家業を手伝うことが日常でした。そのため高校生の頃には「将来、こんな仕事に就きたくない」と考えるようになりました。東京の大学に進学し、家業とは距離を置いて生活していました。

しかし転機が訪れました。専務を務めていた叔父が急逝し、会社の経営が不安定になりました。父から「お前、帰ってこんか、一緒に仕事をせんか？」と言われ、心の中で何かが動き、30歳で帰郷することを決意しました。

実際戻ってみると、経営体制がトップダウンであることや職場の雰囲気の悪さなどに不満を感じ、やる気が薄れていきました。このような状態が2年ほど続いたある日、父が病気で倒れてしまいました。私が急遽経営を引き継ぐことになりました。経営の知識や技術もない、仲間もいない状態で始まりました。

■経営の苦悩と変化

会社を引き続き継いだ数年間は、仕事を止めずに続けることに必死で、手探りの日々が続きました。

そんなある日、今でも忘れられない事件がありました。それは、社員が取引先でシャッターを壊したのにも関わらず、報告がありませんでした。理由を聞くと「社長に怒られることが怖かった」と言われました。この出来事がきっかけで、自分の経営のあり方について真剣に考えるようになりました。

社員との関係に悩んでいた頃、参加した例会で「コインの表と裏」という考え方を学びました。「良いところと悪いところは表裏一体。マイペースな部分を無くすと穏やかな性格も無くなるかもよ」と言われ、私は社員の短所ばかりを見て、叱っていたことに気づかされました。この学びをきっかけに社員との向き合い方が大きく変わりました。職場の雰囲気も明るくなり、今では社員の得意なことを活かして仕事を任せることで、私がいなくても会社が回るようになりました。

■目指していく会社の在り方

この頃から、地域のイベントに参加するようになりました。印刷物の余りを使い、メモ帳を作る体験を開いています。これまでは、本は商売道具の一つに過ぎないと考えていましたが、子供たちが楽しそうに作る姿を見て、本を通して地域貢献できていることを感じました。

またある日、テント生地で製本する依頼を受けました。初めての依頼で受け入れるべきか悩んだ時に、同友会の仲間から「できない理由を探さずに、どうすればできるか考えてみたら？」と言われ背中を押されました。同業にも相談しながら試作を繰り返して、無事作り上げることができました。人の思いを形にする喜びや、できないことができるようになる感動を強く感じました。そして依頼者が私たち以上に喜んでくれ自信を深めることができました。

「本づくりを通して、子供たちを笑顔にし、地域を元気にできる会社でありたい」と強く思うようになりました。



■本づくりで未来へつなぐ

娘が学校で将来の夢について「お父さんの会社を継ぎたい」と発表してくれました。私の仕事を見て、同じ仕事をやりたいと思ってくれたことに感動しました。そのためにも社員が働きやすい職場づくりや女性が活躍できる職場づくりを社員と一緒に考えていきたいと思っています。

関わる仲間の何気ない言葉がきっかけで解決のヒントを得て、仕事に対する意識を変えることができます。子供たちの憧れの職業になることが私の目標です。デジタルの時代だからこそ、ものづくりや思いを形にすることの喜びを大切にしていける姿になりたいです。皆さんもなりたい姿を考えてみてください。

(記：事務局 大塚)

第22回地域プレゼンテーション2025 開催

デザイン×私のまち

2025年3月1日（土）、しまなみ交流館にて第22回となる尾道市立大学美術学科デザインコース3年生による発表会が開催されました。発表会に合わせて、展示会が、MOU尾道市立大学美術館にて2月22日～2月25日の期間で開催されました。主催は尾道市立大学、実行委員会は、尾道市をはじめ、同友会尾道支部を含む、尾道で活動する各団体で構成されています。

今年で22回目を迎える発表会は、2003年に同友会尾道が主催し「産学連携のベンチャー支援～尾道活性化」のテーマで始まりました。

2008年の第6回から主催は尾道市立大学に移行し、街をあげて応援する発表会になりました。名称は今回から「デザイン×私のまち（旧名：地域活性化企画）」と改められました。美術学科デザインコース3年生が尾道や出身地域をテーマに、学生らしいフレッシュな発想や企画を作品展示とプレゼンテーション発表会で提案する企画です。当日の発表会では、選抜された10名の学生がプレゼンテーションを行いました。登壇した学生は、ブラッシュアップアドバイザーによる

講評やアドバイスを受けて企画について質疑応答を行い、審査により最優秀賞、優秀賞が選ばれました。



【企画発表タイトル】

「かぞくと尾道」

「Sazanami.」

「あいな～神戸の里山～」

「onogo」※最優秀賞

「リ・デザイン遊山箱」

「オノミチ 七佛めぐり-いやしの旅-」

「四国花札」※優秀賞

「URUSHI is inOKAYAMA」

「tomori」

「湯らり おのみち」※優秀賞

(記：事務局 井谷)

第11回ぶちええ尾道2025 開催

「共歩」～絆を深める～

2025年3月9日（日）、尾道緑地帯広場にて開催しました。当日は晴天にも恵まれ来場者は600名を超えました。

ぶちええ尾道は、東日本大震災の復興を行う被災地に対して尾道支部青年部会として何かできないかと、樽募金と出店、イベントを行い東日本に寄付を行っていました。しかし、その後も各地で自然災害が起こっており、2024年1月1日元旦には、能登半島地震が起こりました。復興が必要な被災地への支援を継続していきたい。同友会青年部の先輩方から受け継いだ想いを大切にしつつ、検討を行い、東日本大震災復興支援イベントから「災害復興支援のイベント」として進化し、今年も開催しました。

当日は、多くの方に来場いただきました。3つの目的である、①「自社のPR」、②「同友会のPR」、は来場者の方々からも質問をいただくことが多く、また出



店や協賛品でもPRが出来たと思います。③「災害復興支援」についてもたる募金には昨年を上回る募金をいただきました。更に、同友会ブースでも例年より青年部会員の参加人数が少ない中でも工夫を行い来場者の方を楽しませ、会員同士でも親睦を大いに深められました。

PRもしっかりと行う事ができ、来場者や記者の方々からも「以前にもされていたイベントですよね？」とぶちええ尾道の認識がつき始めている言葉をいただき、地域に定着してきているイベント、「ぶちええ尾道」になっていると感じました。

実行委員長として至らない事だらけで、役員の方を始め、実行委員のメンバー、また青年部会員の方、尾道支部の先輩方に助けられ、皆様のおかげで最期まで役を果たせる事ができた事、感謝しています。今回の実行委員での経験を活かし尾道支部の一員としてしっかりと成長をしていきたいと思っています。

(記：実行委員長 亀田仁志（尾道鋼材㈱）)



広島東支部地域内連携推進委員会 広島みなとフェスタ開催！

今年も3月15-16日にかけて、広島みなとフェスタが広島みなと公園及び広島港周辺・似島にて開催されました。第12回目となる今回のテーマは「みなとで出会おう、世界の文化！」。生憎の天気にもかかわらず、2日で約50,000名が来場し、盛大に開催されました。

広島東支部は「え〜じゃろ体験広場」を担当し、6地区会・会員企業12社・西支部青年部・信用金庫（皆実・段原・宇品・旭町支店）などが出展。押し花づく



りやペンダントづくり、トートバッグづくりなど体験型のブースが軒を連ねました。また、今年は「夢叶えましょブース」が出店。本企画では、来場者に夢を用紙に記入してもらい、その中から選抜して同友会会員が実現・応援をします。今年もたくさんの夢を集めることができました。

地域に根ざす中小企業というスローガンの下、1社1社では出来ない規模の地域貢献や地域へのアピールに奮起しました。今回はみらい創生高校とコラボし、生徒さんには同友会ブースの運営に協力をしていただきました。



設営・運営に関わられた皆さん、来場いただいた皆さん、ありがとうございました！来年も広島みなと公園でまっとなるよ！

（記：事務局 橋詰）

広島東支部青年部オープン例会 「未来を創る～挑戦を恐れず、 行動し続けることの重要性～」

2月27日県民文化センターにて、おおよそ6年ぶりにオープン例会を開催し、オブザーバーを含め534名が参加しました。講師として、㈱植松電機 代表取締役 植松 努氏（北海道同友会）をお招きしました。



■思いは招く

子どもの頃から「ロケットを作りたい、打ち上げたい」という夢を持っていた氏でしたが、周りの「諦めろ、という言葉に挫けそうになっていました。そんな時、ロケットについて研究をしていた永田教授と出会い、夢であったロケットの開発に関わることになりました。このような経験から、植松氏は「思いは招く」、つまり、夢を発信することで、夢に共感して一緒に叶えてくれる人との素敵な出会いを運んでくれるということを実感しました。

同社は以前、採用をしても定着が難しい時期があり

ました。その原因はまさに、自分自身が疎んでいた、上からの命令・指示で仕事を行う職場環境にあると気が付きます。「現状では未来がない」と、すぐに行動を開始。会社から役職を取り払い、年功序列等によるボーダーを撤廃しました。このことにより、社員たちが自主性を持って仕事を行うようになり、好奇心と探究心を育む環境になったと言います。さらに氏はロケット開発を通して達成感を体験することで、子供たちが失ってしまった自信を取り戻そうとするロケット製作の活動を続けています。

2024年度の初めに、野村部会長の宣誓でオープン例会に向けて動き出し、三浦実行委員長が周りを巻き込んだことで、たくさんの人を巻き込んだオープン例会にまで発展することが出来ました。この挑戦を毎年継続することが、東支部青年部会の組織作りに重要な要素となることは確かだと考えています。そしてそれが「行動し続ける」ことへの成長の証になれると信じております。



（記：アイウイングス㈱ 相原 一哉）

備北支部3月オープン例会

テーマ 人に寄り添う経営～人が人を呼ぶ～

報告者 俵邦友 代表取締役 石井 浩彦 氏

備北支部では、3月18日霞櫻会館にて、俵邦友 石井社長を報告者にオープン例会を開催しました。

■自分の事より人の事をしなさい

高校卒業後、叔父と父の経営する会社に、ドライバーとして就職し、様々な経験をします。たくさんの人たちと出会、そんな中、常に私が大事にしていた言葉が父から言われた「自分のことより人のことをしなさい」という言葉でした。

自分もトラックに乗り忙しい日々でしたが、人のことを考え役に立てるようにと動いていた結果、私の周りにはたくさんの信頼できる仲間たちができていました。

■独立、物流網の構築～人に寄り添い、大切に～

就職して30代になったころ、物流の別の仕事にも興味を持ち、実兄と共に独立し俵邦友を設立します。また岡山に俵MIコーポレーションを設立。ほどなく中四国に物流ネットワークをつくり共同配送をしています。

弊社は20代から70代と幅広い年齢層と、男性だけ

でなく女性ドライバーも多く在籍しています。社長が社員全員と話をし、安心して働ける会社づくりに注力しています。また、若手社員向けの研修、社員同士のコミュニケーション、定期的な社員旅行や懇親会も企画しています。

■経営者は常に「笑顔」「元気」「前向き」

経営者であると、業績の浮き沈み、取引先との関係など頭を悩ますことばかりです。しかし、そんなことは社員には関係ありません。

社員が楽しく、前向きに働ける環境であるために経営者は社員の前では常に「元気」「笑顔」「前向き」であるべきです。私はそう心掛けています。

(記：事務局 川口)



東広島支部 経営労働委員会

ロードマップを活用して
自社の課題解決

報告者 ワタジ機工(株) 代表取締役 綿路和也 氏

経営労働委員会は3月特別例会として、同友会が第8次中期ビジョンで取り入れているロードマップを活用した例会を、酒造食品飲料メーカー向け自動ボトリング設備の販売・メンテナンス業を営むワタジ機工(株) 代表取締役 綿路 和也氏に報告していただきました。



本例会のねらいは、「経営者が経営課題を明確にし、同友会の活動を通じて学びと実践を深めること」です。

綿路さんは、ロードマップを活用して自社の歩みや事業継承の苦勞、決算や資金調達の課題を参加者と共有しました。

経営指針書の作成や経営理念の策定の重要性、数値目標の設定に至るまでの実践を通じ、同友会の学びが経営にどう生きるかを報告しました。

その中でも、自社の立ち位置を確認しながら経営者としての自分を見つめ直す機会が有意義であり、その経験を例会参加者と共有したことは、経営者としての経験値を今まで以上に高めることができました。

(記：須賀 東広島経営労働委員長)

ちよつとした話

三原支部

同友会ラジオ「社長さん、 教えて！中学生のいま知りたい」 がスタート！

2025年4月よりFMみはらにて、「社長さん、教えて！中学生のいま知りたい」がスタートします。

2023年の4月から、地元中小企業の認知度向上を目的に、「中小企業の知恵袋！小さな会社の大きな力」をスタートしました。パーソナリティ、ゲストを三原支部会員が担当し、毎月ラジオ番組をお届けしていました。

そんな同友会ラジオがこの度、番組審議委員会から「学生に聞いてほしいラジオ番組」と評価され、4月からは新たに地元中学生も番組に加わり、リニューアルをします。

この番組は、中学生が多種多様な職業を知るきっかけとなり、職業体験・卒業後の進路のイメージを持っていただくことを目的に、中学生が三原支部の経営者へ質問を行う形式で進んでいきます。

学校側からは、社会経験の場になることが期待されています。この番組をきっかけに、会員企業の会社が就職先の候補となることや、起業をし、将来同友会会員になる可能性も、、、？

同友会ラジオ「社長さん、教えて！中学生のいま知りたい」は、毎月第1月曜日15時～16時放送です。ぜひお聞きください！

(記：事務局 中野)



社屋が国登録有形文化財に！

～イシネ事務機株 取締役

石根敬之 氏 (尾道支部) ～

尾道駅から三原に向かう道を進むと、味わいのある洋風建築に「イシネ事務機株」の看板がかかっています。ここは、尾道市古浜にあるイシネ事務機株の社屋です。2025年3月に国の文化審議会が有形文化財として登録するよう文部科学大臣に答申しました。

もともとは千光寺のふもと、土堂に1907年に尾道

警察庁舎として建てられた木造2階建寄棟造の洋風建築。そこから1955年に現在の場所に移築され改修を経て現在に至ります。イシネ事務機株の創業は1902年なのでこの建物より歴史があります。

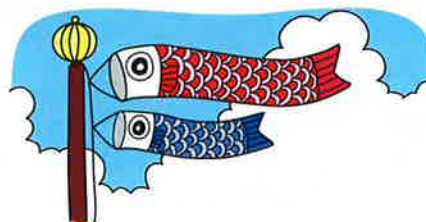
上下に開く縦長の窓、大棟西側にフィニアルを備え、梁間10mを超えるキングポスト・トラスで2階の大きな空間を生み出すなど往時の特徴を残した建物です。

土堂にあったころの警察署建物は、作家 林芙美子の『風琴と魚の町』にも登場。「尾道水道が紡いだ中世からの箱庭的都市」として日本遺産に指定されている尾道の歴史を伝える建物として評価されました。またひとつ、尾道散歩の目的地が増えましたね！

(記：事務局 青芝)



イシネ事務機社屋 (旧尾道警察署庁舎)



新 会 員 の ご 紹 介

3月の支部理事会で承認された皆さんです。

支部名	地区名	会 社 名	役 職	氏 名	会 社 住 所	推 せん 者 名
			会 社 概 要			
広島中	中⑨	(株)リ・ルーフ	代表取締役	則 光 翔	広島市東区戸坂千足1-11-15-200	須山 翔平
広島東	安芸	K A N E L a b	代 表 兼 子 恭 和	広島市中区舟入南2-5-22ハウジング舟入南202	西藤諭美子・筒井 健司	
	安芸	賀茂鶴酒造(株)	代表取締役社長	石 井 裕 一 郎	東広島市西条本町4-31	土屋 武美・筒井 健司
	東	ヒトクル広島	代 表	米 増 陽 一	広島市佐伯区海老園4-7-1 C-303	森山 泰治・山本 淳哲
	東	(株)ルミライズ	代表取締役	土 居 朋 華	広島市中区銀山町11-25第一ダイヤモンドビル2F	郡司 安治・福田信太郎
	南②	(ブライアスタ(同)) ブリッツジム広島店	代 表	越 村 和 華	広島市西区都町33-16 都町テナント1F	小田 昭貴・丸山 紘輝
	南④	(株)ACROSS	取締役専務	田 辺 修	広島市東区二葉の里1-1-72G.C二葉通り501	大里 房弘・西尾 栄司
	南④	B a t a v i a	代 表	篠 原 圭	広島市南区段原山崎1-9-9	有永 龍二・松尾 友美
	南④	(株)ヒーローズ	代表取締役	大 藪 大 樹	兵庫県神戸市中央区臨浜町1-48グランスイート神戸NORTHAT701	加藤健太郎・檜山 裕亮
	南④	(株)ヒーローズ	システムコンサルティング業およびアプリケーション開発業			
広島西	廿日市	ワイワイファーム	代 表	水 田 耕 太	廿日市市津田字下内山3967	森 裕輔
広島北	安佐南	中和建設工業(株)	代表取締役社長	植 木 善 治	広島市安佐南区上安2-52-24-4	山本 千曲
	安佐南	向 井 産 業 (同)	代 表 社 員	向 井 雅 文	広島市安佐南区祇園3-36-3-101	北川 寛
	安佐北	(有)大朝交通	取 締 役	堀 田 祐 作	山県郡北広島町大朝2487	堀田 眞司
	安佐北	高 本 設 備	代 表	高 本 武 浩	広島市安佐南区川内5-20-42	山本 健太
	安佐北	ラウンジ千夜	オ ー ナ ー	田 中 千 佳 子	広島市中区葉研堀6-19 筒井ビル2F	占部 一樹・松本 有示
	安佐北	ラウンジ千夜	ラウンジ			
福 山	D	エ イ ト	代 表	新 田 将 志	福山市大谷台2-13-14	坂本修二郎・内海 陽平
	E	(株)ブレイブ	代表取締役	江 見 知 哉	福山市松永町6-20-27	高橋 由倫・石川 倫之
	S	風 月 堂	代 表	政 延 三代子	府中市上下町上下2035-27	立石 克昭・高山 稔基・ 葛間 立人
呉	呉中央	(株)エイトサポート	代表取締役	平 田 昌 之	呉市中央6-9-23 サンヒルズビル502	中野 誠吾
	広北	久 保 石 建	代 表	久 保 裕 之	呉市広徳丸町15-5	加藤 泰一
	広北	天 庭	代 表	北 村 真 実	呉市川尻町西4-9-12	渡部 和晃
	広北	(株)平岡工業	工事課課長	平 岡 龍 治	呉市広多賀谷1-1-30-1108	加藤 泰一
尾 道		K U S U M I	代 表	楠 見 真 保	尾道市久保2-5-16	森本 和樹・坂口 公彦・ 立石 良典
		笹 井 縫 製 (有)	代表取締役	佐 原 弘 章	尾道市正徳町8-11	清水 良輔・飛谷 暁儀
		笹 井 縫 製 (有)	ミシンを使用し婦人パンツの縫合加工			
東 広 島	東広島西	東 広 島 建 工 (有)	常 務	竹 村 和 也	東広島市黒瀬町宗近柳園1773-4	須賀 亮介
	東広島東	石田プラスチック(株)	代表取締役	石 田 壮 宏	呉市広末広1-5-25	杉原 里志
	東広島東	日下企業経営相談所	代 表	日 下 智 晴	東広島市西条中央3-1-16	栗屋 充博
	東広島東	ス ナ ッ ク 志 乃	代 表	谷 重 志 乃	東広島市西条岡町3-28岡町横丁堀原ビル2F	河内由美子・有原 直樹
	東広島東	(株)高倉組	代表取締役	高 倉 仁	広島市中区大手町1-1-26大手町一番ビル305	宮原 和樹・住田 五月・ 杉原 里志
備 北		東城有機野菜の里	代 表	瀬 尾 裕 希	庄原市東城町内堀1093	荒木 博宜
			地元産の農産物の販売・加工製造			

ちよつとした話

環境経営・地球環境全国交流会in広島開催迫る

来る6月26日（木）～27日（金）、広島で第9回環境経営・地球環境交流会を開催します。この行事は、10年ぶりの開催。中同協委員会の、復活開催への強い思いに広島同友会環境経営委員会が応え、企画・設営を担当しています。テーマは「山から海へ、人から地域へ～持続可能な地域社会を実現しよう～」です。

初日は、記念講演・分科会・懇親会を、オリエンタルホテル広島で行います。

記念講演講師は、食品トレー製造会社で、今や日常となっているスーパー前のトレー回収を、日本で最初に取り組んだ、(株)エフピコのサステナビリティ推進室ジェネラルマネージャー富樫英治氏。同社がトレー回収に取り組んだ経緯や、その後のサステナブル経営への取り組みについて語っていただきます。

分科会は、石川・福岡・広島同友会の4人の実践事

例から学びを深めます。

懇親会は分科会ごとの塊を作ったの立食パーティー。全国の仲間との交流をさらに深めます。

2日目は、オプションで、3つの企業見学ルートを作っています。こちらの参加受付は、恐縮ですが、広島以外の同友会優先となりますので、ご了解をお願いいたします。

詳細は、e.doyuの各支部掲示板をご覧ください。

（記：事務局 橋本）



第53回 定時総会に参加しよう

5月22日（木）にリーガロイヤルホテル広島で第53回定時総会を開催します。今年度の県総会は「Human First! ～共に未来を切り拓き、輝く人・企業・地域づくりを～」をスローガンに掲げ、総会・分科会・懇親会の3部構成で行われます。

分科会は第1分科会「行動することで見てきた未来志向の企業づくり」（報告者：(有)榮成興産 社長板垣多一氏/広島東）、第2分科会「Human Firstの組織づくり、できていますか？」（パネラー：(有)アビラ 所長 小谷伸子氏/広島西、シンワ(株) 社長 太原真弘氏/同、コーディネーター：ピーエルシー、(株)社長 石田美子氏/広島東）、第3分科会「企業づくりは地域づくりと一体で取り組む」（報告者：新谷・農園 代表者 新谷慎一氏/広島北）の3分科会です。それぞれのテーマに基づいた報告と支部を超えたグル

ープ討論で、学びを深めていきます（各分科会の詳細はe.doyuもしくはチラシをご覧ください）。

山西 県総会フォーラム実行委員長 コメント
「私にとって定時総会は、「県の議案を承認する行事」という認識でした。しかし参加してみて、県同友会の重点方針について考えることは、自社経営と不離一体であり、かならず自社に生かすことが出来る、と感じています。さらに今回は分科会もあり、県スローガン「企業づくり」「組織づくり」「地域づくり」への学びを深めることが出来ます。参加し共に学び合ひましょう。自社で実践し、次代に誇れる企業をめざし、共に未来を切り拓いていきましょう」。

（記：事務局 本田）



広報部より

広報部では、e.doyuのログイン率、例会への参加登録率などを毎月ご紹介しています。e.doyuと名簿アプリの活用率を高めるとともに、地区会の活性化につながれば幸いです。

e.doyuアクセス率Best15 (3月にe.doyuに一度以上アクセスした方の率)

順位	支部	地区会名	アクセス率
1	広島東	南②	82.9%
2	福山	F	79.5%
3	三原	三原	76.1%
4	尾道	尾道	74.0%
5	東広島	東広島東	73.6%
6	広島東	安芸	72.9%
7	福山	D	72.3%
8	備北	備北	72.2%
9	福山	G	71.7%
10	広島西	佐伯	70.8%
11	広島東	南①	69.4%
12	福山	S	69.2%
13	広島東	南④	68.9%
14	広島中	中①	65.5%
15	広島西	西	64.2%
県平均			62.9%

例会出席登録率Best15 (3月中に自地区会(支部)の例会に自分でe.doyuから出席登録した方の率)

順位	支部	地区会名	出席登録率
1	広島中	中①	51.7%
2	備北	備北	50.0%
3	呉	芸南	40.0%
4	福山	K	37.8%
5	広島東	東	36.9%
6	広島西	佐伯	35.4%
7	広島東	南④	34.9%
8	広島東	南②	34.8%
9	福山	I	34.6%
10	福山	D	33.8%
11	福山	S	33.8%
12	呉	呉南	32.9%
13	広島中	中⑨	31.6%
14	福山	B	31.0%
15	広島東	安芸	30.6%
県平均			26.9%

入会率Best15 (2024年度の入会者数/期首会員数)

順位	支部	地区会名	入会率
1	東広島	東広島東	22.7%
2	東広島	東広島西	21.4%
3	広島東	南④	21.0%
4	広島東	南③	19.3%
5	備北	備北	19.2%
6	広島東	南②	19.1%
7	広島東	南①	16.7%
8	広島東	東	14.6%
9	広島西	廿日市	14.5%
10	福山	B	13.4%
11	福山	I	13.0%
12	広島北	安佐北	12.2%
13	福山	K	12.16%
14	福山	S	12.10%
15	広島中	中⑨	11.8%
県平均			11.6%

名簿アプリダウンロード率Best15 (4/1現在)

順位	支部	地区会名	DL率
1	広島東	南②	99.4%
2	広島東	南①	88.7%
3	広島東	南③	88.3%
4	福山	K	86.5%
5	広島東	安芸	85.88%
6	尾道	尾道	85.83%
7	広島東	南④	84.91%
8	広島東	東	84.7%
9	広島中	中①	79.3%
10	福山	I	76.9%
11	広島西	佐伯	75.0%
12	福山	G	73.9%
13	福山	J	73.3%
14	呉	広島東	73.0%
15	福山	B	72.9%
県平均			72.0%